

- ・ PPEは、使用毎に行う通常の点検に加えて、定期的に適任者による詳細点検を受ける必要があります。ペツルは製品の使用期間を通し、12 ヶ月ごとの点検および特殊な状況での使用後の点検を行うことをお勧めします。
 - ・ PPE の点検は、メーカー指定の点検方法に従って行ってください。
- 点検に関する資料はペツルのウェブサイト PETZL.COM からダウンロードできます。

レスキュートライアングル

THALES



1. 製品履歴の把握

劣化が認められる PPE は、詳細点検を受けるまで隔離する必要があります。

ユーザーは以下の事を行う必要があります:

- 使用状況に関する正確な情報を記録する
- PPE に生じた特殊な事象を全て記録する

(例: 用具の落下、墜落を止めた、極端な高/低温下での使用または保管、メーカー施設外での改造等)

2. 予備的観察

個別番号と CE マークが付いていることおよび判読できることを確認してください。

備考: 製品記載の個別番号のコード体系は変更されています。コード体系は2種類あります。それぞれのコード体系は以下を参照してください。

コード A:

	00	000	AA	0000
製造年	_____		_____	_____
製造日	_____		_____	_____
検査担当	_____		_____	_____
識別番号	_____		_____	_____

コード B:

	00	A	0000000	000
製造年	_____		_____	_____
製造月	_____		_____	_____
製造番号	_____		_____	_____
識別番号	_____		_____	_____

耐用年数を超過していないことを確認してください。

新しい状態にある同一製品と比較して、改造が施されていないことおよびパーツが欠損していないことを確認してください。

BERMUDE



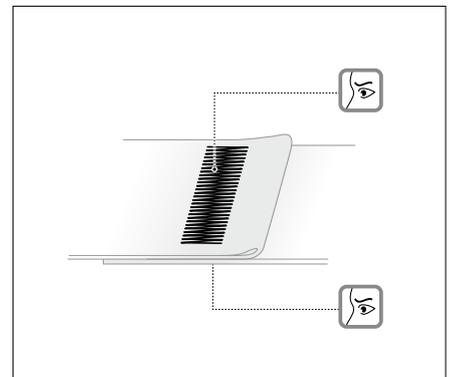
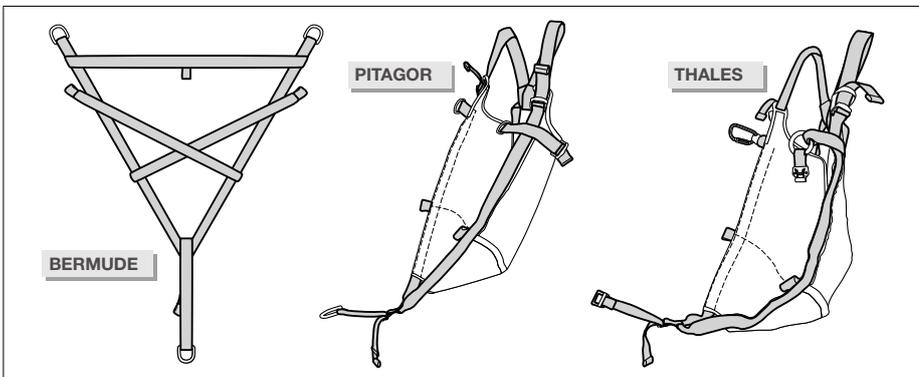
PITAGOR



PITAGOR

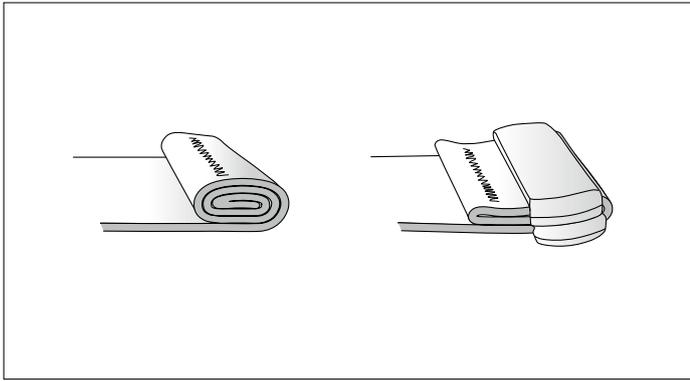


3. ストラップの状態の確認



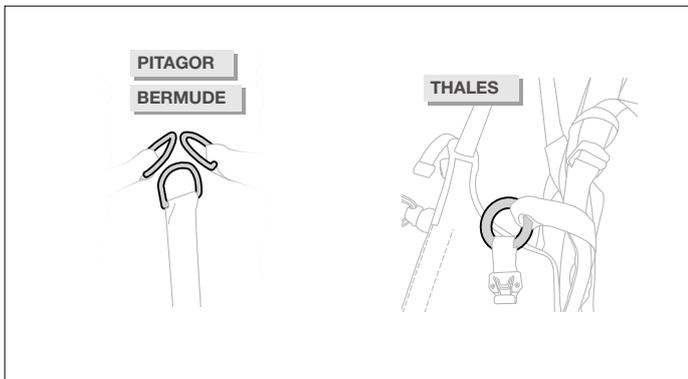
・ ストラップの状態を確認してください。(使用、熱や化学製品との接触による、切れ目、毛羽立ち、損傷や摩耗等がないこと) ウエストストラップ、レッグストラップ、股およびショルダーストラップがあれば状態を確認してください。バックルおよびアタッチメントポイントで隠れている箇所も点検してください。

・ 安全に関わる縫製の状態を両側について確認してください。繊維糸にゆるみ、摩耗、または切れ目がないことを確認してください。安全に関わる縫製は、ウェビングとは異なるカラーで識別できるようにしています。



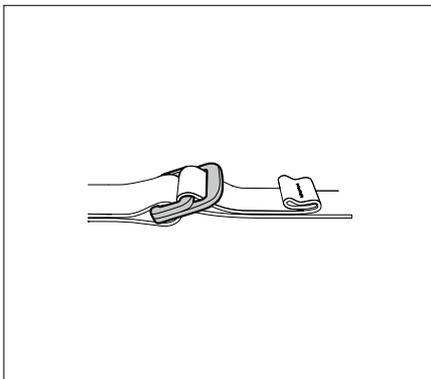
・ストラップの末端に抜け防止の折り返しがあることを確認してください。

4.アタッチメントポイントの点検

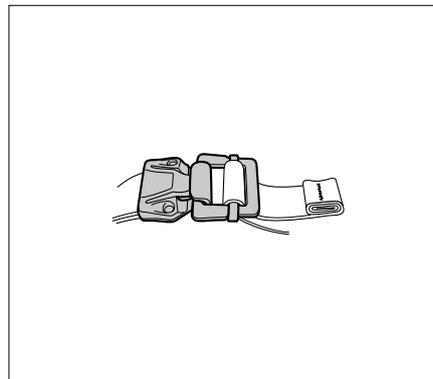


・金属製アタッチメントポイントの状態を確認してください。(傷、ひび、摩耗、変形、腐食等)

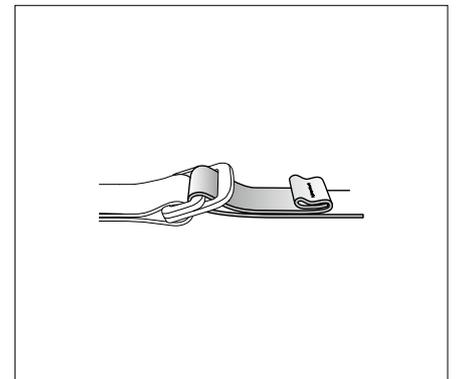
5.調節バックルの状態の確認



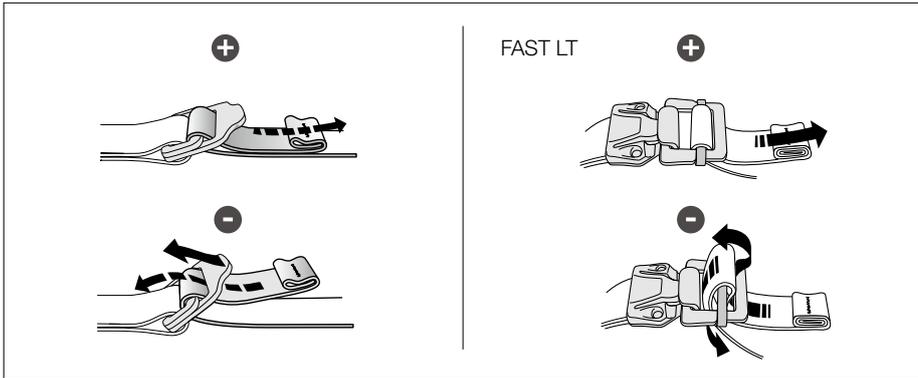
・DOUBLEBACK バックルの状態を確認してください。(傷、ひび、摩耗、変形、腐食等)



・『タレス』は、FAST LTバックルの状態を確認してください。(傷、ひび、摩耗、変形、腐食等)

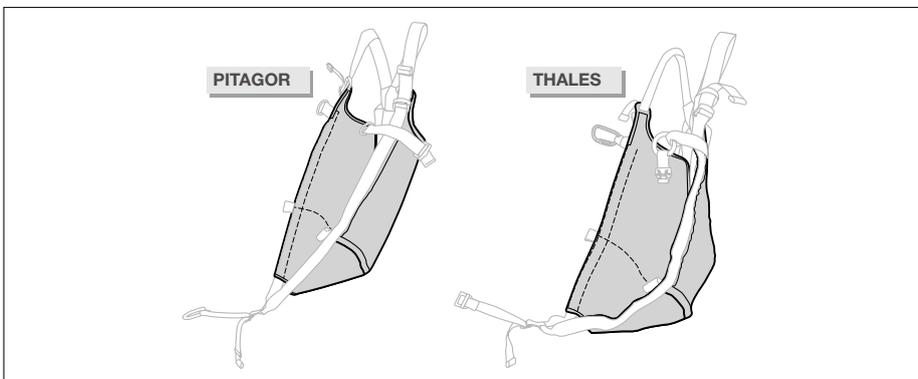


・ストラップがねじれることなく適切に通っていることを確認してください。

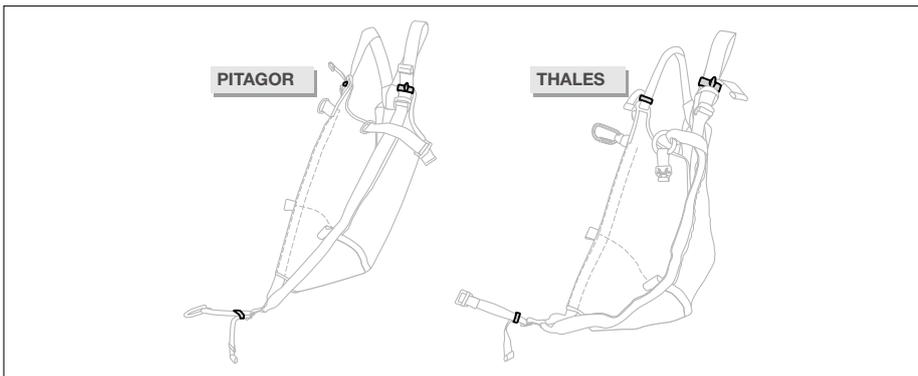


・バックルが正常に機能することを確認してください。

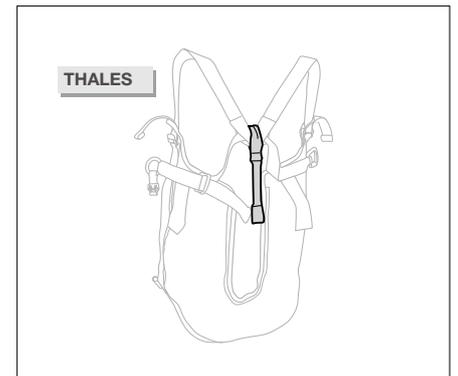
6. 快適性に関わるパーツの状態の確認



・シートの状態を確認してください。(切れ目、摩耗、裂け等)

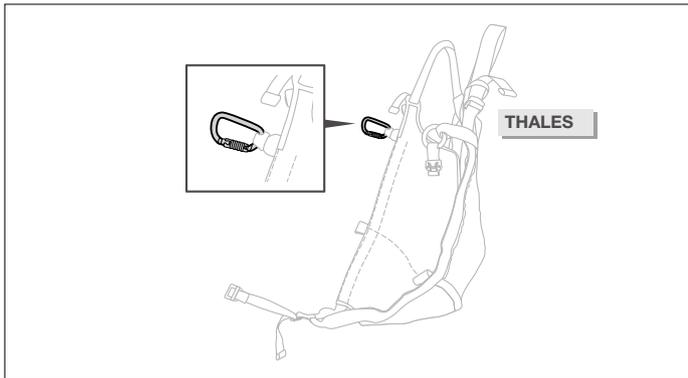


・伸縮性またはプラスチック製リテーナーの状態を確認してください。(切れ目、摩耗、裂け等)



・背部誘導用ハンドルの状態を確認してください。(切れ目、摩耗、裂け等)

7.カラビナの状態の確認 (該当する場合)



・コネクターの点検については、そのモデルの点検フォームを [PETZL.COM](https://www.petzl.com) から参照してください。

・適切なモデルのコネクターが正しく取り付けられていることを確認してください。